



厚生労働省北海道労働局発表  
令和2年10月13日

担  
当

厚生労働省北海道労働局  
職業安定部職業安定課  
課長 新 豊 廣  
課長補佐 高 橋 大 輔  
電話(011)-709-2311  
(内線3674)

## ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組にかかる総合評価について

厚生労働省北海道労働局では、ハローワークの機能強化を図るため、マッチング機能に関する業務の総合評価を実施しています。今般、令和元年度の実績が確定しましたので、主要指標の実績と各ハローワーク所長による分析や総合評価等を記載した就職支援業務報告を公表します。

全国の労働局・ハローワークにおいては、平成27年度から、①PDCAサイクルによる目標管理及び業務改善の拡充、②ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表、③全国的な業務改善に向けた取組の強化を一体的に実施し、一層のマッチング強化に取り組んでいます。北海道労働局においては、就職件数、求人の充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数等に係る目標値を設定し、この目標の達成に向けて、求職者担当者制の実施、応募書類の作成支援、面接指導、小規模面接会の開催、求人票の仕事内容欄の充実及び雇用保険受給者への来所勧奨相談などに取り組んできました。

令和元年度の主要指標の目標達成率は、就職件数95.9%、充足件数95.9%、雇用保険受給者の早期再就職件数112.4%となっています。

今後も、業務の質の向上や継続的な業務改善を図り、ハローワークに対する信頼の向上に努めてまいります。

令和元年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の主要指標の実績

項目 所別	就職件数(常用)					充足件数(常用)					雇用保険受給者の早期再就職件数				
	目標値 令和元年度 ①	実績値 令和元年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 30年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 令和元年度 ①	実績値 令和元年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 30年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 令和元年度 ①	実績値 令和元年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 30年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③
北海道労働局	57,510	55,170	95.9%	59,983	92.0%	56,719	54,380	95.9%	59,209	91.8%	21,300	23,935	112.4%	23,528	101.7%
札幌所	8,380	7,793	93.0%	8,770	88.9%	9,699	9,165	94.5%	10,190	89.9%	2,855	3,298	115.5%	3,273	100.8%
札幌東所	6,610	6,275	94.9%	6,810	92.1%	6,115	5,818	95.1%	6,288	92.5%	3,973	4,444	111.9%	4,410	100.8%
札幌北所	4,595	4,239	92.3%	4,557	93.0%	4,972	4,724	95.0%	5,087	92.9%	2,784	3,124	112.2%	3,089	101.1%
函館所	5,516	5,369	97.3%	5,623	95.5%	5,219	4,948	94.8%	5,358	92.3%	1,849	2,106	113.9%	2,044	103.0%
旭川所	4,267	4,128	96.7%	4,397	93.9%	4,193	4,052	96.6%	4,272	94.9%	1,733	1,880	108.5%	1,865	100.8%
帯広所	3,404	3,276	96.2%	3,646	89.9%	3,426	3,290	96.0%	3,697	89.0%	1,236	1,573	127.3%	1,411	111.5%
北見所	2,198	2,235	101.7%	2,404	93.0%	2,011	2,103	104.6%	2,217	94.9%	696	721	103.6%	754	95.6%
紋別所	497	526	105.8%	538	97.8%	445	464	104.3%	467	99.4%	114	126	110.5%	144	87.5%
小樽所	2,086	1,959	93.9%	2,196	89.2%	2,002	1,849	92.4%	2,108	87.7%	670	631	94.2%	692	91.2%
滝川所	1,777	1,787	100.6%	1,870	95.6%	1,560	1,578	101.2%	1,620	97.4%	426	506	118.8%	452	111.9%
釧路所	3,133	2,903	92.7%	3,322	87.4%	3,023	2,764	91.4%	3,148	87.8%	879	914	104.0%	917	99.7%
室蘭所	3,030	2,883	95.1%	3,071	93.9%	2,777	2,651	95.5%	2,824	93.9%	649	711	109.6%	705	100.9%
岩見沢所	1,491	1,528	102.5%	1,459	104.7%	1,342	1,392	103.7%	1,319	105.5%	446	526	117.9%	479	109.8%
稚内所	757	994	131.3%	900	110.4%	702	945	134.6%	847	111.6%	191	192	100.5%	222	86.5%
岩内所	854	735	86.1%	926	79.4%	828	708	85.5%	883	80.2%	197	230	116.8%	216	106.5%
留萌所	485	509	104.9%	557	91.4%	441	453	102.7%	509	89.0%	113	121	107.1%	115	105.2%
名寄所	935	893	95.5%	1,034	86.4%	852	822	96.5%	919	89.4%	188	193	102.7%	205	94.1%
浦河所	846	849	100.4%	921	92.2%	809	808	99.9%	873	92.6%	149	191	128.2%	186	102.7%
網走所	579	635	109.7%	666	95.3%	564	606	107.4%	625	97.0%	187	175	93.6%	209	83.7%
苫小牧所	2,982	2,730	91.5%	3,029	90.1%	2,866	2,518	87.9%	2,901	86.8%	908	1,060	116.7%	963	110.1%
根室所	1,127	1,132	100.4%	1,230	92.0%	1,026	1,037	101.1%	1,117	92.8%	257	260	101.2%	302	86.1%
千歳所	1,961	1,792	91.4%	2,057	87.1%	1,847	1,685	91.2%	1,940	86.9%	800	953	119.1%	875	108.9%

※1 就職件数(常用)は、ハローワークの職業紹介により常用就職した件数(常用とは、雇用期間の定めのない仕事、または4ヶ月以上の雇用期間が定められている仕事をいいます。)

※2 充足件数は、北海道内の各ハローワークで受理した常用求人の充足件数

※3 雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の支給日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数

# ハローワーク札幌 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 1 職業相談窓口体制及び窓口誘導の強化による雇用保険受給者の早期再就職の促進

職業相談サービスの向上を図るため、個別支援がメイン業務である就職支援ナビゲーターを一般相談窓口に取り込むことにより、相談窓口数を拡大すると共に提供する支援内容を拡充。

また、雇用保険受給者の早期再就職を促進するため、認定日等において職業相談回数が少ない方を対象とした職業相談窓口への誘導、フロアナビによる求人検索端末利用者の職業相談窓口への誘導を積極的に行い、雇用保険受給者との関わりを強化。

#### 2 人材確保対策コーナーによる支援対象分野（福祉・建設・警備・運輸）に対するマッチングの促進

初めて来所される方が求職申込みを行う際、支援対象分野（福祉・建設・警備・運輸）に対する興味・関心についてのアンケートを実施し、希望職種や資格・勤務経験以外の側面も考慮しながらニーズの把握に努めた結果、令和元年度計で介護 780 名、看護 613 名、保育 528 名、建設 449 名、警備 333 名、運輸 528 名の潜在的求職者の掘り起しを行うことができ、マッチング機会の確保を図った。

また、事業所ニーズについても把握・分析を行い、きめ細かな対応に努めたほか、不定期開催となっていたミニ企業説明会の開催を 2 週間に 1 度のサイクルで定期的に行うことにより、平成 30 年度 17 回開催（参加企業 33 社、参加者数 238 名）に対し、今年度 27 回開催（参加企業 58 社、参加者数 562 名）の大幅な増加となり、求職者に対する求人情報や事業所情報の提供など能動的なマッチングを推進。

#### 3 マッチング班による受取求人に対する充足支援サービスの強化

求人充足会議の定期的な開催、未充足求人に対する求人内容への助言・提案、該当する求職者への情報提供のほか、所内研修の実施によるマッチングスキルの向上等により充足支援サービスを強化。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

#### 1 人材確保対策コーナー支援対象分野への求職者の誘導及び求人者サービスの展開

北海道労働局と共同で地方自治体、関係機関・団体と連携し、各種支援策を実施（企業説明会、職場見学会及び就職面接会の開催、求人者の充足支援の実施、各種研修会・セミナー講師派遣、関係団体発行広報誌への寄稿、テレビ・ラジオ局及び新聞社、地方版月刊誌等の各報道機関への広報活動等）。

#### 2 雇用保険受給者の早期再就職の促進

① 個別支援をメイン業務としていた就職支援ナビゲーターを一般相談窓口に取り込み相談窓口の増加及び相談体制の強化を図った。

② 初回認定日の翌日以降、相談窓口の利用の無い受給者を対象とした窓口への誘導、フロアナビの配置による来所者端末利用者に対する窓口への誘導の実施。

③ 所独自セミナーの内容の修正（受講者により分かり易くなるよう内容の見直しを実施）。

④ システム刷新に伴う来所者端末の操作方法の積極的な周知。

### 3 高齢者支援の強化

① 高齢一時金受給者の認定日相談の実施。

② 高齢者向け求人情報（各区版）の作成。

③ 札幌市が実施するシニアワーキングさっぽろへの出展による潜在的求職者の掘り起し。

### 4 求人充足の促進

① ミニ面接会・管理選考の開催。

② 「業界を知る訪問研修（所内研修ブラッシュアップシリーズ）」の継続実施。

③ 求人条件緩和指導により、応募しやすくなったリフレッシュ求人の積極的な掲示。

## （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

### 1 職業紹介件数増加へのアプローチ

雇用保険受給者の相談窓口への誘導、人材不足分野を希望する潜在求職者の掘り起こしなど窓口相談件数の増加を図るとともに、窓口相談時における求人の積極的な提供、能動的マッチングの強化による紹介件数増加に取り組む。

### 2 人材確保対策コーナーにおける重点支援対象分野の事業主に対する支援の更なる充実

人材確保の取り組みを深めるために関係団体・事業主を定期的に訪問するなど、日常的に情報交換が可能となるようなネットワーク（顔の見える関係性づくり）形成に努める（次年度以降も継続実施）。

### 3 求人充足のための取組の継続と新たな正社員求人の確保対策の確立

### 4 職業訓練相談コーナーへの利用者誘導と再就職支援の促進

一般相談窓口から訓練相談窓口への誘導を円滑に行うとともに、再就職支援にあたっては公共職業訓練受講者の求職活動指定日に合わせた求人情報の送付、及び職業訓練修了間近な受講者のうち就職未内定者に対して再就職支援サービスメニューを送付し、希望に応じて個別支援を実施する。

### 5 マザーズハローワークの利用促進と就職支援セミナー等を活用した就職促進

## （4）その他業務運営についての分析等

### 1 人材確保対策コーナーと北海道働き方改革推進支援センターの連携強化

「働き方改革関連法」(2019年4月1日)施行に伴う、企業の取組を共同で支援(各種研修会・セミナー開催の企画及び講師派遣等)。

2 北海道(ジョブカフェ)との連携

- ① 緊密な連携・情報交換のほか、「みらいっぽ会議」を定期開催(月1回)。
- ② ジョブカフェ主催イベント「高校生のためのGO!GO!企業説明会」(7/3)へのスタッフ派遣(5名)。
- ③ 新卒応援HW主催「大学生等就職マッチングフェア2019」(8/23)及び「新規学校卒業者就職面接会」(1/30)にジョブカフェコーナーを開設。

3 札幌市との連携

- ① 札幌市主催の高校生向けイベント「ワク!WORK!学校祭」に新卒応援HWブースを開設(主に適性検査を実施)。
- ② 札幌市の委託事業「若年層職場定着支援業務」及び「さっぽろインターンシップ促進事業」について企画競争実施委員への就任。

4 地理的利便性を活かした「あいワーク」の業務運営

札幌市とハローワークが一体となって当所管轄内の札幌市内各区役所(中央区、西区、南区、手稲区)に「あいワーク」を設置し、ハローワークへの来所が不便な求職者に対する支援として職業相談・紹介窓口を設置・運営。

2 総合評価(※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果(主なもの)

	就職件数 (常用)	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期 再就職件数	求人 に対する 紹介率	求職者 に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーターの 支援による 正社員就職件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員 に結びついた フリーター等 の件数	公的職業 訓練修了 3か月後の 就職件数	マザーズハローワーク 事業における担当者制 による就職支援を受け た重点支援対象者の 就職率	人材不足 分野の 就職件数
実績	7,793	9,165	3,298	38.2%	41.7%	668	734	2,291	1,899	702	92.8%	2,196
目標	8,380	9,699	2,855	41.6%	43.8%	731	726	2,272	1,995	548	92.7%	2,182
目標達成率	92%	94%	115%	91%	95%	91%	101%	100%	95%	128%	100%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク函館 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 「人材確保対策コーナー」を令和元年6月に新たに設置し、「人材不足分野の就職件数」を所の重点指標として取り組みました。  
具体的には、人材不足分野（特に当所での求人数の多くを占める介護・看護及び保育分野）での人材を求める事業主への求人内容の見直し助言、求職者向けの事業所説明会やミニ面接会を開催するほか求人情報の提供等によりマッチングの促進を図りました。
- ・ 雇用保険受給者への早期再就職支援のため、失業認定日における受給者全員との職業相談の実施・求人票の提供、給付制限中の来所勧奨、就職支援セミナーの実施等に引き続き取り組みました。
- ・ 新規求職者が減少している中であって、60歳以上の求職者は男女とも増加率が高く、全体の構成比も20%を超える状況が続いているため、昨年度に引き続き「生涯現役支援窓口での就職支援」を所の重点指標として取組み、「高齢者向けの求人確保」、「高年齢者求人情報誌の作成・提供」、「高年齢求職者給付金受給者に対する認定日当日の上記窓口への確実な誘導」により就職支援を図りました。

その結果、「就職件数」の目標達成率は97.3%でしたが、「人材不足分野の就職件数」は目標達成率108.6%となり、「雇用保険受給者の早期就職件数」では達成率113.9%、「生涯現役窓口の就職件数」は達成率107.4%となり、成果を上げることができました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 令和2年1月からのハローワークシステム刷新に合わせ、本所内に人材不足分野を重点とした「情報発信コーナー」を設置し、「事業所PRシート」や「ピックアップ求人」等による事業所情報の更なる周知に努めました。
- ・ 「はこだて若者サポートステーション」による出張相談を新たにハローワークプラザはこだてや八雲出張所内で実施することとし、若年者の就職支援を図りました。
- ・ 就職支援セミナーを担当する講師役のデモンストレーションを皆で講評し合い、所員の資質向上を図りました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

令和元年度の取組みを着実に進めるとともに、人材不足分野における事業所説明会や面接会の更なる改善・拡充を検討します。

#### (4) その他業務運営についての分析等

管内の主要産業であるイカやホタテ等の不漁が回復せず、原料高騰に悩む水産加工業をはじめ、函館市内のホテル建設ラッシュに伴う既存業者への影響、そして年明けからの新型コロナウイルス感染症の影響による国内客や外国人観光客数の落ち込みによる売り上げ減少など不安材料が重なり、どの業界においても従業員の解雇や休業等の雇用調整、倒産の可能性も高くなっているため、必要な情報を収集し、関係機関との連絡調整及び必要な対策を迅速に行う必要があると考えています。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

- ・ 今年度の重点指標として、人材不足分野のマッチングを図るため、保育業界との連携・協力のもと、初の「保育の仕事 2020 合同企業説明会」を3月に開催予定として準備も終了していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。
- ・ 北海道の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3月26日に北海道知事と北海道労働局長を本部長とする「合同緊急雇用対策本部」が設置され、函館地域においては、函館公共職業安定所長と渡島総合振興局長を本部長とする「函館地域緊急雇用対策本部」を3月30日に設置し、以下の対策を実施することとなりました。
  - ① 雇用の維持・安定や求職者の早期就職に向け、新型コロナウイルス感染症に関連した国や道の支援策や労働相談窓口の周知、各種助成金の活用促進
  - ② 解雇、休業等をせざるを得ない事業所情報の把握とともに、合同対策本部と連携した各種助成金等の活用促進、求職者ニーズに合わせた就職支援の実施
  - ③ その他必要な支援策の案内と取扱機関への誘導

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	公的職業訓練の修了3か月後の就職件数	マザーズ・ハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	5,369	4,948	2,106	41.9%	45.8%	427	488	94.6%	12,870	2,369	1,653	130
目標	5,516	5,219	1,849	41.1%	48.4%	341	390	92.7%	15,532	2,322	1,522	121
目標達成率	97%	94%	113%	101%	94%	125%	125%	102%	82%	102%	108%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク旭川 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職」の取組を最重要と考え、「求職者担当者制の実施」と「給付制限期間中の来所勧奨」を重点的に取り組みました。「求職者担当制の実施」による支援対象者の就職率は、きめ細やかな職業相談や各種支援サービスの提供に努めた結果、目標 65%に対し 66.7%と取組目標を達成することができました。また「給付制限期間中の来所勧奨」については、給付制限中の求職活動の状況等を把握し、各々の状況に応じた支援サービスを提案するため、給付制限対象者に対して制限期間中の来所相談を確実に促したことにより、取組目標である給付制限中の来所相談率 50%に対し 55.1%と取組目標を達成することができました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

令和元年 11 月から高年齢受給資格者に対し、認定日における職業相談を実施し、「高年齢者向け求人情報」を活用した求人情報の提供と併せて「生涯現役支援窓口」や「生涯現役推進事業窓口」への誘導や窓口活用の勧奨を行っています。

人手不足となっている介護分野の職業理解を進め、企業説明会や面接会への参加を促進するために、無資格者や未経験者を対象とした「介護福祉のお仕事入門セミナー」を開催しています。また、「ふくしのお仕事のつどい～ミニ（小規模説明会・面接会）」に参加いただく事業者を、主に「資格・経験不問の求人を提出している求人者」とすることにより、多くの求職者が参加しやすいものとなりました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

令和 2 年 1 月に刷新された職業紹介システムの新機能である、求人者マイページや求職者マイページの周知・活用を図り、新機能を活用した職業紹介による「求人・求職のマッチング力向上」を目指します。

### （4）その他業務運営についての分析等

介護、看護、保育、建設、運輸分野をはじめとする人手不足分野への支援が急務であり、求人者からのニーズが高い「ミニ面接会」等による求人者支援強化に向けて、スタッフが一丸となって取り組むことが必要であると考えています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	4,128	4,052	1,880	31.5%	43.1%	389	529	14,358	1,928	145
目標	4,267	4,193	1,733	34.3%	44.3%	380	502	14,813	2,092	110
目標達成率	96%	96%	108%	91%	97%	102%	105%	96%	92%	131%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク帯広 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成に向けた取組として、失業認定日の雇用保険受給者全員との職業相談の実施と求人情報の提供、給付制限対象者に対する早期再就職のメリットの説明と給付制限期間中のハローワークへの来所勧奨の実施、求職者担当制による求職者の課題に応じた履歴書・職務経歴書の作成支援やセミナーの受講勧奨等のきめ細やかな支援を行いました。

「就職件数」に関する取組としては、応募書類の作成支援や適性・興味検査の実施等、求職者のニーズを踏まえた窓口相談の充実や面接トレーニングの効果的な実施、一定期間相談がない求職者に対する電話連絡による来所勧奨と必要な助言・指導等を行いました。

「充足数」については、正社員求人の確保、求人条件の緩和指導を積極的に行い、条件緩和された求人票については所内掲示板に「リフレッシュコーナー」を設け公開するなど、求職者へアピールして応募を促進する取組を行いました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者が減少する中、早期に応募のあった求人の特徴をまとめたリーフレットを作成し、求人者に対し求人条件の緩和を促すとともに、条件緩和された求人票は所内掲示板に「リフレッシュコーナー」を設け公開するなど、求職者に対し積極的に情報提供を行いました。（条件緩和された求人件数355件、充足数86人）

また、求職者のうち55歳以上の占める割合が高いことから、昨年度に引き続き「生涯現役支援窓口」では予約制により相談時間の確保に努めるとともに、個別の課題に応じた支援の実施、一人ひとりのニーズに合った働き方の提案や求人の選定・情報提供等を行いました。（55歳以上の就職件数686件）

所員の資質・専門性向上のための取組として、的確な職業相談に関する研修、求人受理に関する研修、職業相談担当スタッフによる事業所訪問を実施しました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

これまでの取組を継続的に実施していくとともに、就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の就職支援にあたり、求職者担当制の対象とし、個々人の置かれている状況・課題の把握に努め、これらに対応した履歴書・職務経歴書の作成支援、公共職業訓練のあっせん、不安定就労者

再チャレンジ支援事業の紹介といったきめ細やかな個別支援を実施していきます。

求人受理時に年齢制限に関して丁寧に確認するとともに、年齢不問求人を受理する際には、「60歳以上応募可」「60歳以上応募歓迎」の記載を勧奨し、高齢者向け求人情報誌の充実と積極的な情報提供により、高年齢者層に対する就職支援に取り組んでいきます。

所員の資質・専門性向上のため、応募書類作成支援スキルアップ研修などの各種研修を実施するとともに、求人票以上の事業所情報の収集と業界動向や仕事内容の理解を深めることを目的とした事業所訪問の実施に引き続き取り組んでいきます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

帯広市が実施する「ジョブ・ジョブとからち（実践型地域雇用創造事業）」について、求職者に対して個別カウンセリング等の就職活動サポートの活用や登録企業からの面接リクエストといったメリットを雇用保険受給者の初回講習時や職業相談の際に説明し、登録を勧奨する等により連携を図ることで、地域の就職促進に結び付いています。（「ジョブ・ジョブとからち」への新規登録件数243件）

## 2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数
実績	3,276	3,290	1,573	31.3%	42.5%	324	227	94.6%	11,797	1,321
目標	3,404	3,426	1,236	34.6%	43.5%	355	189	92.7%	11,410	1,449
目標達成率	96%	96%	127%	90%	97%	91%	120%	102%	103%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク北見 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」については、来所者に対するきめ細やかな職業相談や再就職に関する適切な情報提供に努め、特に早期の再就職を希望する求職者に対しては、積極的に窓口でマッチングした求人や求人情報の提供を行なうとともに、求職者担当者制の取り組みにより、就職件数の目標を達成しました。

「充足件数」については、正社員求人や人材不足業種の未充足求人对策として、求人充足会議を充実させるとともに求人者担当制を実施しました。また、職業相談部門では、求職者に対し積極的な求人情報の提供、事業所部門では、求人者に対し求人条件の緩和指導を行いました。さらに、求人者には、当所会議室を利用した会社説明会の開催を勧奨するなどの取り組みにより、充足件数の目標を達成しました。

「雇用保険受給者の早期再就職件数」については、初回認定日に窓口でマッチングした求人の提供や、給付制限対象者には求職活動状況をセルフチェックできる勧奨文を手交して給付制限中の来所勧奨をするとともに、各種セミナーや会社説明会への参加勧奨などの取り組みにより、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談部門においては、双方向性の求職者担当制の実施、マッチング求人の提供による来所勧奨、求人検索機利用者への窓口誘導や利用勧奨、応募書類の下書き作成の案内や応募書類の添削指導等の取組を、事業所部門においては、事業所見学会の実施、求人充足会議の充実、所会議室での会社説明会、求人条件の緩和指導により条件変更となったリフレッシュ求人や急募求人等について、求人票に各種アピール表示を付すなどして、掲示ボードに掲載するなどの取組を実施した。

また、若年求職者の減少で求職者に占める中高年層の比率が高まっている現状を踏まえ、「中高年就職促進対策」に取り組んでおり、事業所部門では、求人受理の際に、求人の条件緩和指導を実施し、中高年齢者が応募可能な求人をピックアップし「中高年齢者向け求人情報」等を月1回作成し、職業相談部門では、相談スタッフが窓口で中高年齢求職者に求人情報を直接手交し相談を進め、さらに一緒にマッチング求人を検索するなど、窓口提案型の職業相談を実施している。

### (3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

新規求人数が減少傾向にあることから、正社員求人等の良質求人確保のため、事業所へのはたらきかけの強化や非正規雇用の求人の正社員求人への転換等に取り組むとともに、働き方改革や雇用管理改善の取り組みに向けた支援等を通じ良質求人確保に努めます。

また「就職氷河期世代（35歳～54歳）の正社員への就職件数」については、上記取り組みを通じ「学歴・経験・免許資格不問」など応募しやすい求人確保に努めていきます。

### (4) その他業務運営についての分析等

「障害者の就職件数」については、障害者個々の状況に応じたきめ細やかな職業相談や職業紹介、関係機関との連携によるチーム支援を引き続き実施します。

「マザーズハローワーク事業」については、求職者ニーズを踏えた担当者制による就職支援として、マザーズ担当者による個別求人開拓、マザーズコーナー求人情報の作成、各種セミナーの開催等の取り組みを引き続き実施します。

また、利用者満足の一層の向上や職業紹介業務の質を高めるため、職員の専門性の向上のための各種研修を実施するとともに、求人票以上の事業所情報の収集、業界動向や職務内容等の知識の習得による専門性の向上の観点から、積極的な事業所訪問を実施します。

## 2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハローワーク事業における担 当者制による就職支援を受けた 重点支援対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,235	2,103	721	34.4%	50.3%	189	93.2%	5,624	944
目標	2,198	2,011	696	35.0%	49.1%	158	92.7%	5,378	889
目標達成率	101%	104%	103%	98%	102%	119%	100%	104%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク紋別 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、今年度において「就職件数」、「充足件数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」等の目標を達成するための最も重要な取り組みとして、認定日の相談時に積極的に求人情報の提供を行いました。特に給付制限中の方に対しては再就職手当を再度周知する等、重点的に取り組みました。また専任スタッフによる求職者担当者制、応募書類の添削指導、面接指導、適性・興味検査などを実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

今まで以上にスピーディーで効率的なマッチングが可能となるよう、受理求人の回覧用紙を改良し求人担当と職業相談担当の情報共有を推進する取り組みを実施しました。求人者、求職者双方のニーズを的確に把握してマッチングを行い、充足に結びつけるツールとしては一定の効果があったと考えております。また充足会議においても積極的に各担当の情報を交換し、情報の共有化に取り組みました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

有効求職者数以上に有効求人数が増加するという傾向が続いておりますので、職種によっては求人がなかなか充足しない状況が生じています。求人者の人材確保が早期に達成できるよう「わかりやすく、魅力ある求人の受理」、「求職者への正社員求人情報の提供」、「応募者が少ない場合の求人内容の見直しや求人条件の変更に係るアドバイス」、「魅力ある職場づくりへのアドバイス」、「関係する助成金の周知」等について、引き続き求人者へ積極的に発信していきます。

### （4）その他業務運営についての分析等

昨年度に引き続き今年度も就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成できたのは、求職者、求人者に対する上記（1）～（3）の取り組みの成果と考えております。

また、ハローワークの職業紹介スタッフとして、求人・求職のマッチング能力、キャリアコンサルティング能力は、大切な能力と考えておりますので、スタッフのスキルアップを恒常的に進めるため、外部・内部講師による研修を行います。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

求人掲示スペースに求人事業所の所在地がわかるようなA0版の紋別市内地図を作成して設置し、貼り出している求人票（最新・急募・リニューアル求人）の事業所所在地を地図に表示することにより事業所の所在地を視認しやすくしたことやハローワーク紋別の利用案内のリーフレットを10,000部作成し紋別市の広報に折り込みを依頼しハローワークの存在をアピールしたことも目標達成の一因であったと考えております。

## 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	障害者の就 職件数
実績	526	464	126	29.5	53.6	1442	197	51
目標	497	445	114	29.8	53.4	1344	189	39
目標達成率	105%	104%	110%	98%	100%	107%	104%	130%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク小樽 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標及び所重点指標について、次のとおり重点的に取組を進めました。

- 1 「就職件数」の目標達成のため、就職支援セミナーの参加勧奨を積極的に実施、令和元年7月の外部委託セミナーにおいて定員を上回る参加希望を受けたことに伴い、令和元年8月から所独自セミナーを新規に実施、独自及び委託分を合わせて年間261名を実現しました。
- 2 「充足件数」の目標達成のため、定期的に求人充足会議を開催しました。選定する求人の吟味、選定求人に求める課題、求職者の希望条件の傾向を事業所・職業相談両部門で共有し、求人者へのフォローアップの働きかけまでを一連の議題として業務の連動性を意識した能動的マッチングを推進しました。また、所内会議室を会場とした会社説明会を46回開催、延104事業所に充足35件を実現し、求人事業所との信頼関係構築、高い採用率、人材不足分野の人材確保対策と一石三鳥の効果がありました。
- 3 「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成のため、初回講習時に早期再就職した場合のメリットや求職期間長期化についてのデメリットを説明。初回認定日の全員相談では、再就職手当受給額を解説することで早期再就職のイメージを持ちながら求人情報提供や応募勧奨を積極的に実施することで就職促進に繋がりました。
- 4 「マザーズハローワーク事業における重点支援対象者の就職率」の目標達成のため、子育て世代の希望に沿ったセミナーを企画し、18名定員で4回の開催、合計定員72名に対して70名の参加申し込みを確保しました。また、支援対象者への支援を深め、ニーズに対応した事業所訪問による求人開拓を進めました。
- 5 「正社員求人数」及び「正社員就職件数」の目標達成のため、職員、求人者支援員による事業所訪問を実施し、求人開拓、雇用管理指導及び各種助成金の案内を通じて正社員求人の確保を図り、求職者に対する情報提供を積極的に実施しました。
- 6 「障害者就職件数」の目標達成のため、管内の高等支援学校を訪問し全員面談を行うなど関係機関と連携を強化し、障害特性に応じたきめ細かな就職支援を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- 1 就職支援セミナーについて、積極的な参加勧奨の結果、定員以上の参加申し込みを受けたことから、そのニーズを受け止めるため所独自セミナーを新規に実施しました。

- 2 ハローワークシステム刷新による来所者端末の操作環境の変更により、高齢者を中心として来所者から操作の不安を強く訴えられたことから、初めて操作する求職者全員に操作案内を実施し、窓口利用を促す契機としました。
- 3 ハローワークシステム刷新に伴う求人者マイページの利用促進について、所内研修を実施し求人者への説明内容を共有。求人者が登録に来所した際には、次回求人申込時の操作方法を演習することで、電子申込み時の不明点を解消できるよう支援を行いました。
- 4 改正健康増進法が施行されることに伴う求人票への受動喫煙対策項目の追加について、小樽保健所と打ち合わせを行い、法の周知、説明に対する連携体制を構築、求人者の疑問解決への枠組みを設けました。求人票にかかる具体的な受動喫煙対策の確認については、制度の解説を付記した回答票を作成し、選択式による報告とすることで求人者の負担軽減を図りました。
- 5 令和2年1月に職業相談部門のレイアウト変更を実施し、待合場所を広く確保するとともに、待合内に求人情報閲覧スペースを設けることで新着情報をじっくり確認できる環境を整えました。
- 6 求人事業所を一層理解することを目的として、職員・非常勤職員の複数名で事業所訪問を実施し、求職者への情報提供を充実させました。

### **(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について**

- 1 ハローワークシステム刷新により、オンラインサービスが強化されたことから従来の窓口サービスと融合した利便性の向上を図ります。
- 2 生涯現役支援窓口の設置による高齢者の支援、就職氷河期世代の安定雇用の実現等、あらゆる年代層に対するきめ細やかな支援を行います。
- 3 職員・相談員の資質向上のため、研修や事業所訪問の充実を図ります。

### **(4) その他業務運営についての分析等**

令和2年2月に有効求人倍率が4.2か月ぶりに減少に転じる等、コロナウイルスの影響により労働市場に大きな変化が見られています。新規求人数の大幅な減少が見られることから、求人の質の向上とともに総量確保に向けて事業主等に対する積極的な働きかけが必要になると考えられます。

求職者に対しては、求人数の減少からマッチングが困難となることが考えられるため、労働市場の動向を踏まえ適切な助言を行う必要があります。

長く続いた売り手市場により、人手不足分野への求人充足サービスが課題となっておりましたが、コロナウイルスの影響による雇用失業情勢の変化を的確に捉え、必要な対策を講じるべきであると考えております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

生活保護受給者等の就職件数について、年度当初に地方自治体に対して、巡回相談時のケースワーカー同席率の増加要請を行いました。ケースワーカーの同席が増加したことで、支援対象者がハローワーク、地方自治体それぞれへ報告していた相談内容の相違が解消され就職へ向けた意識形成が図りやすくなりました。その結果、目標値に対して135.3%の実績を挙げることができました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,959	1,849	631	36.3%	51.6%	156	96.8%	4,824	795
目標	2,086	2,002	670	39.0%	52.2%	156	92.7%	4,970	818
目標達成率	93%	92%	94%	93%	98%	100%	104%	97%	97%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク滝川 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主に就職件数、充足件数の目標達成のために、次の事項について重点的に取り組みました。

#### 1 基本業務の徹底として

- ・ 求職票表面の完全記入及び職業相談コメントの的確な記録の徹底を図りました。
- ・ 各種支援メニューに係る周知を積極的に実施しました。
- ・ 求人票記載内容の正確性と明確性を確保し、必要により求人条件緩和及び法令遵守の指導を実施しました。また、求人票記載内容以上の事業所情報（画像情報含む）の収集と提供にも取り組みました。

#### 2 求職者担当制の取組として

- ・ 対象者を念頭に置いて、より意識した職業相談や適合求人の情報提供など積極的に取り組みました。
- ・ 求職者の減少が続く中、積極的に質の高い個別支援を実施するなど、求職者担当制自体が日常の通常業務となるよう取り組みました。

#### 3 求人者担当制の取組として

- ・ 求人充足会議において選定した求人について、適合する求職者の登録状況や求職者への情報提供とその反応状況、求人票記載内容の工夫や条件緩和の提案などに取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ ハローワークシステムの刷新に伴い、来所者端末のレイアウトの見直しを行い、求職者の利便性を勘案し環境整備を行いました。来所者端末の操作が不慣れな求職者については、機械操作をナビゲーションする専属のスタッフを配置し、端末利用者へのサービス向上に努めました。
- ・ 充足会議について見直しを行いました。充足会議は、職相部門2名・事業所部門2名で実施していましたが、充足会議に参加していないスタッフの意見が、反映されない場合が見受けられたために改善しました。具体的には職業相談時に把握した【求職者の声】【窓口担当の意見】について記録を行い、充足会議に持ち込むこととしました。充足会議で検討された意見は、【充足会議の意見】として事跡を残し、以後の求職者への対応、事業所への対応に役立てました。

- ・ 将来のキャリアプランに不安がある求職者や、職業訓練受講希望者を対象として、所独自の「求職活動のための自己理解セミナー」を実施しました。過去の職歴から『できる』仕事を振り返り、自身の強み・弱み、行動特性、長所・短所などを整理してもらい、以後の就職活動の助言を行いました。
- ・ 生涯現役社会の構築に向け、高齢者の多様なニーズに対応した就業機会を提供する必要があるため、令和元年9月から令和2年3月の間に「生涯現役求人一覧表」の作成および配付することで、高齢者に対する就職支援を強化しました。
- ・ 求職者の待ち時間の解消策として、待合フロアで放映しているDVDの放映サイクルの見直しを行いました。

### **(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について**

- ・ (1)(2)で実施した「特に重点的に取り組んだ事項」及び「サービス改善・業務改善を図った事項」の更なる定着のためには、ハローワークスタッフの、求人・求職のマッチング能力、キャリアコンサルティング能力などの個々人の資質の向上が重要となりますので、スキルアップの向上のため研修の実施を進めます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、雇用情勢の悪化が考えられるため、求職者支援については、基本業務の徹底及び従前から実施しているサービスの強化に力を入れ、又、事業所支援については、各種助成金の周知、新型コロナウイルス感染症の終息後には、積極的に事業所訪問を行い、求人開拓を実施します。又、各自治体・支援団体等で実施している相談窓口への誘導、各種制度の周知など連携強化を図ることとします。
- ・ 氷河期世代の不安定就労者・無業者の就職支援の強化を行うため、一人ひとりの課題にきめ細やかに対応し、必要に応じて個別担当者制を実施します。
- ・ 自宅にPCやプリンター等の設備がない求職者の支援として、来所者端末コーナー内に「求職者向け応募書類作成用設備」を設けPCやプリンターの配置を行う計画です。又、庁舎内にWIFIを利用できるよう環境整備したため、周知を進めます。
- ・ 庁舎内の掲示物の方法の見直し、デジタルサイネージを使用したイベント情報の周知を進めます。

### **(4) その他業務運営についての分析等**

- ・ 求職者が減少する中で、主要3指標及び生活保護受給者の就職件数を中心に目標を達成することができました。次年度もこのレベルを低下させないよう、進捗状況の管理、分析を行いながら、正社員求人の確保についても取組を強化していきます。
- ・ 年度当初に全所員を対象（職員・非常勤職員）とした「PDCA研修」を所長が実施し、目標管理の考え方を始めとした取組についての意思統一を図ってきました。又、「PDCAチェックシート（全所員用）」に寄せられた所員自由記入欄（より良いサービスを提供するため

に)を基に、各課部門で検討を重ね、活用できる課題については業務に取り入れてきました。

- ・ 中長期的な職員の育成を図る観点から、出先機関の若手職員を対象に業務研修を実施し、職員の技能向上に役立ててきました。
- ・ 所内スタッフ向けの、「ハローワーク滝川職相通信」を年間30回発行しました。職業相談技法についての紹介を行い、自己研鑽の機会を提供しました。
- ・ 職業相談窓口での、相談技法向上のためキャリアコンサルティング資格取得者の輩出に努めてきました。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,787	1,578	506	32.5%	48.7%	51	144	4,183	760
目標	1,777	1,560	426	33.0%	51.1%	43	148	4,258	725
目標達成率	100%	101%	118%	98%	95%	118%	97%	98%	104%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク釧路 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 当所では、雇用保険受給者の早期再就職の促進を重要と考え、資格決定時から求職者のニーズを確認、必要な支援を積極的に実施しました。初回相談の際には、当所作成の訓練情報や求人検索、窓口相談、応募時のワンポイントを織り込んだHWワンポイントアドバイスの交付や再就職手当の具体的な金額の提示、早期再就職のメリットを丁寧に説明し就職意欲の喚起に努めました。
- ・ 求職申込職業相談時に実施している求職申込アンケートにより、求職者個々のニーズ、緊要度を的確に把握した上で、担当者制による個別支援、求人情報提供、応募書類の作成支援、面接支援などにより求人・求職のマッチングを図り早期再就職に努めました。
- ・ 当所2階のブースを活用した、企業担当者と労働条件等について直接情報交換ができる会社説明会を求人企業に積極的にアピールし、参加企業の幅を広げ就職支援につとめました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者・求人者サービスの向上のために部門間の連携が重要と考え、紹介四部門統括によるミーティングの実施要領を作成し、毎月1回開催することで、各部門の業務の進捗状況、問題、連携について共有を図りました。

求人充足会議については、対象求人の早期充足のため紹介窓口担当者全員が充足会議の結果を共有し、担当者制による個別支援や情報提供を実施するなど積極的な支援に努めました。

求人検索機の番号カード裏面にハローワークの支援メニューを掲載し、窓口の利用促進をアピールしました。

増加傾向にある高齢者の就職を促進するため、60歳以上の方応募歓迎の求人情報を作成し定期発刊を行いました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

来所者端末利用者の相談窓口への誘導のため、総合案内で声掛けを行うとともに、各検索機に毎月の就職実績とハローワークのサービスメニューを掲示し、相談窓口への誘導を図ります。

庁舎内に紹介就職件数を掲示し、ハローワークの実績をアピールすることで窓口への誘導を図ります。

窓口スタッフの資質の向上と相互理解を促進するため求人受理、求職受理の相互研修実施を検討します。

また、障害特性を窓口スタッフ全員が理解することで、就労に課題のある求職者等への相談技法向上のための研修実施について検討します。当所紹介スタッフとして最低限実施すべき項目（応募書類の作成支援、面接支援、紹介時の求職者アピール、セミナーや訓練勸奨、共有する充足対象求人へのアプローチ等）について、日々記録し月ごとに職1統括に提出、年間を通して個別管理を行い相談レベルの向上に努めます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

求人検索がハローワークインターネットサービスに統一されたことに伴い、ハローワークに来所しなくても同様の求人情報を得られるようになり、求職者の窓口相談件数の減少が懸念されることから、求人申込企業を訪問し、ハローワークと企業の関係構築を図るとともに、訪問時に得た求人票には載らない情報を相談窓口担当者間で共有し、職業相談時に求職者に提供することにより、求職者のリピーター化を図るとともに求職者応募の後押しによる就職促進、また、求人の充足に努めます。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	マザーズハ ローワーク 重点支援対 象者就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,903	2,764	914	35.7%	49.2%	341	428	93.0%	7,044	1,186
目標	3,133	3,023	879	38.6%	48.9%	354	283	92.7%	7,810	1,273
目標達成率	92%	91%	103%	92%	100%	96%	151%	100%	90%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク室蘭 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 1 生涯現役支援窓口の設置

「生涯現役支援窓口」を新たに設け、60歳以上の方を対象とした求人情報の提供、過去に高齢者の採用実績がある企業の求人情報の提供、求職者の就業ニーズに合わせた就職相談と、専任スタッフがきめ細かな対応を行いました。

#### 2 応募前職場見学の実施

仕事探しをされている方の中には、求人応募を検討する際にもう少し詳しい話を聞いてみたい、面接前に実際の職場環境や雰囲気を確認したいと思っっている方が少なからずいます。事業所側も求人票だけでは説明が足りないところを直接説明ができるとなれば自社の良いところを知ってもらえるチャンスと考えており、求人・求職双方にメリットが生まれる取組と位置づけ実施しました。この取組が面接に行つて「思っていたのと違った」というようなミスマッチの未然防止や職場定着（早期離職防止）につながるものであり、求職者からは「見学は参考になった」「他の事業所も見学したい」などの声も寄せられました。

#### 3 システムの刷新（新しいサービス）

1月に刷新されたハローワークシステムの新しいサービス展開では、利用者が引き続きスムーズにそのメリットを活用できるよう、変更された内容について理解を深めていただくための効果的な周知方法を検討し、発信に努めました。その結果、今回の新しいサービスの肝である「求人者マイページ」、「求職者マイページ」については、管内ですでに多数の利用が進んだところです。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

#### 1 1月のシステム刷新に併せて実施した庁舎内のレイアウト変更

今般の機器の移動と併せ、総合案内の位置を利用されるお客様の出入りが多い入口から近い場所へと移設し、お客様が戸惑うことなく利用できるよう対応しました。

#### 2 掲示物の整理

庁舎内には様々なリーフレットやポスターを配架、掲示しており、どこに何があるのかが一目ではわかりづらく、配架していたリーフレットも気づかれずにハローワークから得られる情報が限定的なものにとどまるなど、幅広い支援サービスを提供するハローワークの役割発

揮上の課題となっていました。そのため、庁内にあるリーフットスタンドをその内容毎に差別化し定期的な点検を実施することで、古いまま残っている書類のこまめな入れ替えを心がけ、常に最新の情報を提供しました。

### (3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

情報通信が発展を続ける中、より便利に、よりスピーディーにと社会全体が移行しつつあります。ハローワークの職業紹介業務においても、お仕事を探している方がハローワークに出向くことなく、スマートフォンや自宅のパソコンでハローワークの求人票を見られるようになるなど、サービス利用者の利便性が向上しています。ハローワークはその手助けとなるよう、付加価値のある新しいサービス利用について、担当スタッフが詳しい知識を持ち、ご利用される皆さまにわかりやすく説明できるよう、今後もしっかりと準備をしております。一方で、どうしても通信機器に苦手意識がある方、直接話を聞くことで初めてご納得いただける方もいらっしゃいます。ハローワークでは、早期の就職実現をめざし、求職活動される皆さま一人ひとりの悩みや不安を受け止める親身な相談を心がけ、ニーズに応じて満足した結果が得られるよう尽力していきます。

### (4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染拡大により経済活動や雇用への影響が深刻化している中で、これまで続けてきた売り手市場は一変し、不本意にも職を失う方が増加しています。早期再就職による生活の安定を確保するため、管内企業の採用意向調査、総量確保のための求人開拓、希望条件の詳細把握などに努めていくとともに、経済活動の早期立て直しのための求人充足対策、雇用調整助成金の活用など雇用維持のための取組にも全力を尽くします。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	マザーズハロー ワーク重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,883	2,651	711	36.0%	54.9%	149	93.7%	7,458	1,106
目標	3,030	2,777	649	37.7%	55.5%	122	92.7%	7,615	1,120
目標達成率	95%	95%	109%	95%	98%	122%	101%	97%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク岩見沢 就職支援業務報告（平成元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点指標においては「マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、窓口におけるきめ細やかな就職支援のほか、DMによる求人情報の提供、応募書類作成等の各種セミナーを実施しました。

特にセミナーは、好感度アップセミナー（外部講師）、自己理解セミナー（外部講師）、応募書類作成セミナーを実施。3月実施予定のセミナーが新型コロナウイルスの影響で中止となったにもかかわらず、受講率は全体で103.8%となり利用者からも好評を得ています。

また、「美唄市ふるさとハローワーク」について、平成30年9月末に事業年度就職数が減少し、「業務改善計画」対象となりましたが、4月以降、ポスター市中掲示、利用者アンケート、求職者に利用勧奨文と求人一覧郵送、美唄でマッチングし本所でDM作成送付、BGM設置、マスコミ活用の広報（地元新聞記事掲載）、就職者感謝メッセージ掲示、（月刊）シニア版求人一覧創刊、ミニ面接会、生活保護巡回相談、市長への局幹部・所長申入れ（2回）など、集中的な取組を切れ目なく実施し続け、平成元年9月末の事業年度就職件数は266件と改善計画をクリアしました。

これら取組と成果は所員モチベーションを向上させ、所全体の取組に波及し、主要業務指標各数字を押し上げる原動力となりました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職を図るため、給付制限期間中の来所勧奨の強化、求人検索に来所した求職者へのアンケート内容を見直すことによる窓口への誘導強化、求人担当者制など求人充足会議の充実等に取り組んだほか、高年齢求職者給付金及び特例一時金の資格決定を職業相談窓口で行うことにより、職業相談窓口の利用促進を図ることとしました。

特に、高年齢者の就職促進のため高年齢求職者給付金認定後の全員相談を実施しました。

また、人手不足業種人材確保対策として、経営破綻したトレーラー運送会社の離職者十数人に対し雇用保険説明会を別枠で開催し、その中で管内トラック協会傘下の求人事業所採用担当者による説明を実施しました。当該事業所への就職には結びつかなかったものの、事業主団体のハローワークへの信頼が高まったものと思料します。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

主に新規正社員求人を対象にDMによる情報提供に取り組みましたが、求職者の詳細な情報（スキル、希望条件等）の不足が原因で応募は低調だったことから、より丁寧な職業相談、次につながる求職情報の記録に重点をおいて取り組みます。

なお、当面は、電話・郵送等による来所を求めないサービスにより、新規正社員求人のDM通信紹介に注力しますが、緊急事態解除により平時に戻り次第、雇用・経済状況を見極め、積極的な求職者個別支援及び求人充足支援サービス、若しくは失業増の場合は求人開拓による求人絶対量確保に努めます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

システム刷新に伴う来所者端末による求人検索利用者の減少や新型コロナウイルスの流行による来所者の減少等、今後は来所による利用者の減少が考えられるため、緊急事態解除後であっても、通信相談・通信紹介の充実を図るなど来所を伴わない利用者の取り込みが必要と考えます。

また、今後は新型コロナウイルスの影響による失業者数の増加が見込まれますので、求人開拓による正社員求人数の確保、職業訓練活用による求職者支援、個別相談支援及びDMによる求人情報の提供強化等に取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	マザーズハローワーク事業 における担当者制による就 職支援を受けた重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,528	1,392	526	34.3%	48.6%	93.3%	3,990	619
目標	1,491	1,342	446	37.1%	48.8%	92.7%	4,137	650
目標達成率	102%	103%	117%	92%	99%	100%	96%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク稚内 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、前年度に続き「求人を出しても応募者がいない」と困っている事業所の求人充足数を高めることを重点課題の一つと考え、

- 1 事業所を訪問して採用イメージの明確化
- 2 求人内容のブラッシュアップ
- 3 所内充足会議でのマッチング
- 4 「企業PRシート」の作成や募前事業所見学の勧奨
- 5 企業説明会への参加要請

等を行いました。

充足数の増加から見て一定の効果があったと手ごたえを感じた一方で、当所の周知不足、特に④については年度後半のシステム刷新や新型コロナウイルス関連の掲示物を優先するあまり、所内掲示という形でのPRがトーンダウンしてしまったのは反省材料です。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- 1 当所としては初めて、50代後半以上の世代を対象とした2部構成の就職支援セミナーを実施しました。

第1部は年金制度（社労士）や健康寿命や健康管理（稚内市保健師）について、シルバー人材センターの活用法などの講話を行い、これから働くうえで必要な知識等を習得。第2部はシニア歓迎求人提出の管内4事業所による合同仕事相談会を実施。最大20人予定のところ26人の求職者が参加し、このうち2名は当日に面接に移行するなど盛況に終わりました。

- 2 障害者雇用が進まない管内事業所の固定化を防ぐことや、管外の養護学校に通う管内出身障害者とのマッチングを目的として、北海道美深高等養護学校及び北海道小平高等養護学校を訪問しました。卒業予定者はじめ生徒の皆さんについての情報交換及び地元就職についての勧奨等を行いました。現在1名が管内事業所にて職場実習を開始しています。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

### 1 離島に居住する求職者へのサービス強化

当所は管轄地域に離島が含まれており、ハローワークへの来所自体が困難な方々が多くいます。これらの方々の就職（応募）機会の均衡を図るため、これまでの電話相談や通信紹介に加え、お客様のご希望に応じマイページの活用推進も検討します。併せて、各自治体との連携・協力のもと、役場内で地元の求人票を閲覧することができるよう調整していきます。

### 2 就職支援メニューの拡大について

当所では「就職支援セミナー」を年3回実施しており、受講者の皆様から概ね好評をいただいております。しかしながら日程が合わず受講できなかった方も見られたため、今後開催回数を増やすなど、より受講しやすくなるように努めます。

（※新型コロナウイルスの収束状況等を勘案しながら実施を検討します。）

## 2 総合評価（※）

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	994	945	192	31.4%	53.0%	44	1,770	220
目標	757	702	191	33.7%	55.8%	42	1,508	169
目標達成率	131%	134%	100%	93%	94%	104%	117%	130%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク岩内 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 令和元年度は、前年度から継続して取り組む項目として、朝ミーティングや連絡会議を中心に前年度の取組内容の検証を行いながら、マッチングの向上につながる取組を実施しました。
- ・ 年度当初から求職者数の減少が推測されていたことから、求職者担当制、ハローワーク利用者の掘り起こし等の取組を実施しました。
- ・ 雇用保険受給者に対しては引き続き認定日における全員相談の実施、マッチングによる情報提供をして就職率の向上に努めました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ マッチングを行った求人・求職者のケースごとにその評価を職員間で情報共有・意見交換をすることにより個々のマッチング力を高め就職件数、充足件数を増加につなげる取組を実施しました。
- ・ 求職者の掘り起こしについては未就職で無効となった求職者の中から紹介歴があるなど就職意欲が高いと思われる者に対して電話による来所勧奨を行い新規求職者及び就職件数の向上を図りました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

- ・ 人材不足分野におけるマッチングの推進については介護・看護・保育・建設・警備・運輸分野に加え当所管内で特に不足している宿泊業・飲食サービス業における分野について管理選考等の支援を積極的に実施していきたいと考えております。
- ・ 就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の就職支援について、求職者担当制の選定対象とするなどきめ細かい個別支援等を実施して正社員採用の実現に向けた取組を進めていきたいと考えております。

### （4）その他業務運営についての分析等

- ・ 地域の若年者の地元就職促進及び早期離職防止を目的として、北海道後志総合振興局、後志教育局と連携して地域の高校生を対象とした合同企業説明会を開催しました。



2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターの支援す る正社員就職 件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	735	708	230	27.9%	51.1%	44	2,091	227
目標	854	828	197	30.2%	50.1%	30	1,944	228
目標達成率	86%	85%	116%	92%	101%	146%	107%	99%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク留萌 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

若年の求職者の減少と非正規雇用労働者の増加が問題となっている中、当所では「ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数」の目標達成が最重要と考え、重点的に進めてきました。

特に就職促進を図る取組としては、求職者の立場や状況に寄り添ったきめ細やかな相談をはじめ、個々のニーズを的確に把握した適切なマッチングを実施したことにより、対象者に対する正社員求人の情報提供の目標件数である160件を大きく上回る404件の求人情報の提供を行いました。

また、正社員求人確保のために、年齢別の正社員希望割合のグラフを載せたリーフレットを作成し、求人開拓や事業所訪問時に配布することにより、広く正社員求人の確保に努めました。

さらに、若年者の職業相談において、キャリアインサイトの活用が有効と考え、キャリアインサイトの活用に係る知識の習得と職業相談スキル向上のため職業相談部門の職員、相談員を対象とした研修を実施しました。

その結果、「ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数」は目標を達成することができました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

所内の求人充足会議の実施要領を改正し、会議参加者全員による未充足理由や記載内容の工夫を検討、条件緩和の提案により応募可能となる求職者をピックアップし会議で持ち寄ることとしました。また、会議で選定した求人の中から求人担当者制求人を選定し、その後の会議開催ごとに求人充足サービスの提案について再検討を行いました。

さらに、これまで雇用保険受給者に限定して行ってきた求職者アンケートを、全ての求職者に広げ求職申込時に回収することとし、早期にニーズや緊要度の把握、的確な就職支援サービスの提案を行うこととしました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

高齢の求職者の割合が増加している中で、高齢者のニーズや強みを的確に把握し、求人者に高齢者の活躍できる場の提案や求人要件緩和を積極的に働きかけ、求人者、求職者双方へのサービスを強化していきます。

また、当所管轄は離島を含む広大な地域であり、特に冬場の移動が困難となるときがあるため、これまで以上に電話相談や通信紹介の利用を進めていきます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

当所管内は自衛隊や北海道振興局など国や地方公共団体等の公的機関が多数あり、他の地域と比べると人口に占める公務員の割合が非常に高い地域です。また第一次産業の漁業関連に従事する者が多い中、稼働できる労働者が少ないのが現状です。人口減少と高齢化による生産年齢に偏りがある中で、地方自治体や関係機関と連携を密にし、限られた労働力の中での人手不足分野への人材確保や定着指導に有効な取組の検討及び実行を進めます。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びつい たフリーター等の 件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	509	453	121	31.3%	51.9%	68	945	141
目標	485	441	113	29.3%	50.2%	60	1,027	138
目標達成率	104%	102%	107%	106%	103%	113%	92%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク名寄 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者数の減少傾向がある中で、求職者については、前年度に引き続き、求職者担当制によるきめ細かな個別支援を実施したほか、マッチングした求人の相談窓口や郵送等による情報提供、応募書類の作成支援、面接指導を積極的に行いました。雇用保険受給者の方には、早期就職支援のため引き続き失業認定日における全員相談及び給付制限期間中の来所勧奨の取組を進めました。

求人者については、毎週、求人充足会議を開催するとともに求人者担当者制を実施し、必要に応じて求人内容の明確化や求人要件の緩和を働きかけるなど、求人充足サービスの向上に努めました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所管内の遠隔地域（来所するには、概ね1時間以上の時間を要する方）に居住する求職者全員に対し、「通信紹介」の積極的な活用を勧奨するリーフレットを送付し、積極的な応募勧奨の取組を実施しました。

また、庁舎の他、管内の公共施設や商業施設に配置する求人情報誌について掲載方法を改善し、通勤可能な地域毎（3地域）にまとめた求人情報誌を作成・配置し、ハローワークの利用促進や応募勧奨の取組を進めました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

令和元年度においては、特に「求人に対する紹介率」が低調に推移していたことから、積極的な求人条件緩和指導や、求人者担当制及び求職者担当制などの個別支援によるきめ細かな個別支援の取組を進めます。

また、ハローワークの相談窓口の更なる利用促進のため、窓口の活性化を図る取組を進めます。

### （4）その他業務運営についての分析等

雇用環境の改善傾向が進んできた中で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の雇用への影響に十分注意する必要性があり、自治体や関係団体と連携を図るとともに、管内における雇用状況を注視しながら対応を図ることとします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	893	822	193	29.9%	53.2%	60	1,735	283
目標	935	852	188	32.8%	55.2%	57	1,693	248
目標達成率	95%	96%	102%	91%	96%	105%	102%	114%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク浦河 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

雇用保険受給者の早期再就職支援に重点を置き、取り組みを行った。

具体的には、認定日全員相談に備え、1週間前に認定対象者の把握とその時点でのマッチング求人の選定を行い、郵送等による求人情報の提供を行っている。更に、認定日前日に再度認定対象者の確認を行い、最新求人でのマッチングを行い認定当日に提供することとしている。

マッチング求人がない求職者であっても、セミナーや訓練等の情報提供を行うとともに、求職者の就職意向確認を、求人状況等を説明の上、再確認するなど、求職要件緩和も含めた相談を行うこととしている。

これらの取り組みにより、就職件数等の目標達成につながった。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

受理求人（更新求人を除く）について、相談員を含め、相談部門全員参加による求人充足会議を週2回行った。

求人内容の確認や求人者から聞き取った深いニーズを職業相談部門全員で共有することにより、プラス1アプローチがスムーズに行えた。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

能動的なマッチングを行う。具体的には、求人者、求職者のより深いニーズの的確な把握とともに、要件緩和の可能性を確認することで、求人者、求職者の要件緩和指導をスパイラルに行い、マッチングを進める。

また、目標達成に至らなかった正社員求人の取組は、求人要件緩和指導や魅力ある求人内容のアドバイスなど事業所訪問（コロナウイルス感染終息後）を引き続き行い、正社員求人の確保に努める。

### （4）その他業務運営についての分析等

求人倍率が高く、求職者が少ない状況から、求職者一人一人に対して、どのような支援を行うことで就職の可能性が高まるかとの視点で、相談部門全体が一つのチームとして支援を行っていきたい。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	849	808	191	29.6%	55.4%	53	1,851	233
目標	846	809	149	31.2%	55.1%	38	2,045	219
目標達成率	100%	99%	128%	94%	100%	139%	90%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク網走 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者数の減少傾向が続く中、ハローワーク窓口の利用促進とそれに対応するマッチング機能の強化が最重要と考え、以下の項目について重点的な取組みを行いました。

- ・ ハローワーク窓口の利用促進の取組みとして、当所の行う各種サービスを管内に広く周知するため、ハローワークガイドと週刊求人情報の配置先（公共施設等）の新規開拓を行いました。
- ・ 職業相談部門の全ての窓口で職業相談・紹介と求人受理の両方の業務を行うことで、窓口担当者が求職者・求人者双方のニーズを把握・共有することができ、収集した情報を活かして、求職者に対する適合求人の積極的な提供、求人者に対する求職者ニーズに沿った求人条件緩和の提案等を行いました。
- ・ 雇用保険受給者を中心として、求職者担当者制によるきめ細やかな職業相談を実施するほか、認定日全員相談における適合求人の提供、応募書類の作成支援や面接トレーニングなどの課題解決支援を積極的に行いました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人情報等の配置先開拓の一環として、管内自治体にホームページへの求人情報掲載について働きかけを行った結果、新たに1自治体から同意を得ることができ、1市1町のホームページへ当所の求人情報が定期掲載されることとなりました。

また、庁舎内において、週刊求人情報に加え、月1回発行の「正社員求人情報」及びテーマを定めた「ピックアップ求人情報」を掲示、配架することで、求職者の多様なニーズに対応した求人情報提供サービスを展開しているところですが、令和元年度においては、新たな重点的テーマとして「高齢者向け求人情報」の定期発行を開始し、高年齢求職者に対する紹介率及び充足数の向上に努めました。

さらに、介護・保育関係などの人材不足分野の就職促進のため、応募前職場見学が可能な求人確保の目標数を定め、積極的な確保に努めました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

令和元年度においては、「求人に対する紹介率」及び「求職者に対する紹介率」が目標値に届かず低調であったことから、紹介率向上のため、求職者担当者制による的確な職業紹介及び積極的なマッチング、求人者担当者制による求職者ニーズを踏まえた条件緩和提案等、きめ細



やかな各種支援サービスの提供に努めます。

また、雇用保険受給者の早期再就職件数も低調に推移したため、初回講習時における早期再就職のメリットについての説明等により早期再就職への意欲喚起を図ると共に、認定日相談及び勧奨による来所時における能動的マッチングによる求人情報提供等により求職活動を促進する支援を行います。

さらに、紹介率の向上には、相談窓口の利用促進が必要と考えられるため、ハローワークガイド及び週刊求人情報の配置先の継続的な開拓等により、潜在的求職者の掘り起こしに努め、また、庁舎内においては、求人検索機の案内表示や各種掲示物の表示内容及び来所者の反応等を検証し、効果的な窓口の利用勧奨となるよう随時見直しを行います。

#### (4) その他業務運営についての分析等

少子高齢化等により新規求職者数が減少し、人手不足分野を中心に求人が増加する状況においては、未充足となる求人が増加することが見込まれることから、求人者に対する支援に重点的に取り組む必要があると考えられます。今後は、求人票の記載内容の質的向上及び求人票の内容以上の情報の収集に努め、的確な職業紹介や積極的なマッチングに活用するとともに、各種研修の受講等により窓口担当者の求職者及び求人者サービス技法の向上を図り、求人者及び求職者双方への担当者制の個別支援を強化することにより、就職数及び充足数の増加につなげる取組を継続して実施していきます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	人材不足分野 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	635	606	175	31.6%	46.6%	155	1,543	218
目標	579	564	187	32.3%	48.7%	141	1,537	191
目標達成率	109%	107%	93%	97%	95%	109%	100%	114%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク苫小牧 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者数が減少傾向にある中、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者については、前年度に引き続き、求職者担当者制によるきめ細やかな個別支援に重点的に取り組んだほか、雇用保険受給者については早期再就職を促進するため、失業認定日における受給者全員との職業相談及び給付制限期間中の呼出相談の実施、正社員求人を中心とした求人情報の提供、応募書類の添削指導や面接選考に向けた助言・指導などを積極的に実施しました。

また、求人者へは、管内の雇用失業情勢等を図説した分かり易いリーフレットを作成・活用し、より求職者ニーズにマッチした求人の開拓や求人条件の緩和等を積極的に展開するとともに、求人担当者制の実施などによる求人充足の促進を図る取り組みについても、積極的に実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者が減少している状況を踏まえ、求人検索パソコン利用者に対して窓口利用を勧奨する案内を作成し、求人検索画面に表示するほか、求人検索コーナーに掲示して職業相談窓口の利用促進に取り組みました。さらに、ハローワークカードの裏面にハローワーク支援メニューを印刷し、窓口利用の勧奨を図りました。

また、求人者へは、求人受理後、早期に求人充足となる求人の特徴等をまとめた資料を作成・配付し、求人条件の緩和等に関するアドバイスにも精力的に取り組みました。

### （3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

新規求職者数の減少傾向が続く予想の下、求職者の方々とのより丁寧・きめ細やかな職業相談に心掛け、積極的な求職者担当者制などにより相談件数及び紹介件数の向上を意識しながら、職業相談窓口の活性化に取り組んで参ります。

また、求人充足サービスの充実を図るため、求人充足会議の充実・強化などに積極的に取り組むとともに、求人の充足可能性を高める積極的・能動的な求人者サービス等を展開して参ります。

### （4）その他業務運営についての分析等

求職者数が減少する中、的確な求職者ニーズの把握に努め、求職者担当者制などによる丁寧かつきめ細やかな個別支援、雇用保険受給者に対する効果的な就職支援メニューの提供などにより、職業相談窓口の活性化を図りながら、正社員就職を中心とした就職促進に努めることに

尽力したいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念される中、求人数が減少傾向となっている一方で、充足されない求人が増加していることから、分かり易く魅力的な求人内容への見直しや、求人条件の緩和等を積極的に助言・提案するなど、求人の充足可能性を高める取り組みにも努め、求人の充足数向上に繋げていきたいと考えております。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	学卒ジョブサポーター の支援による正社員 就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	基幹産業求 人充足率
実績	2,730	2,518	1,060	34.2%	44.7%	79	288	9,728	1,286	24.6%
目標	2,982	2,866	908	37.5%	45.7%	80	283	9,682	1,353	42.8%
目標達成率	91%	87%	116%	91%	96%	98%	101%	100%	95%	57%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成

# ハローワーク根室 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職に資する取組の実施」に係る取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、雇用保険受給者に対する個別支援について積極的に取り組みました。

具体的には、個別支援対象者の課題等に応じて、チームでの支援を実施するために、求人充足会議（ケース研究）を毎日開催し、登録求人と求職者との積極的マッチングを展開するとともに、必要に応じて、求人票記載内容の見直しや求人条件緩和の提案等により早期再就職につなげました。併せて、人材不足分野の人材確保を念頭に、マッチングの精度を高め、求人者サービスの向上を図りました。

これらの取組の結果、令和元年度の実績では、主要指標である就職件数、充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数で目標値を上回り、新規求職者数が2,507人と前年度と比べて205人、7.6%減少する中、就職件数は、1,132人と前年度と比べて5人、0.4%増加し、就職率45.2%と前年度と比べて3.7P増加しました。特に、雇用保険受給者の就職率は、40.3%と前年度と比べて3.7P減少したものの、北海道内のハローワークの中で1番高い数値となりました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

関係機関との連携を深め、地域が一体となった支援の取組を実施しました。具体的には、定期的で開催している地方自治体を含む関係機関との連絡会議等の場で、管内においてはコミュニケーションが不足している若年者の相談機会が不足しているとの意見を受け、新しい取組として令和元年度から、釧路市に所在する「くしろ若者サポートステーション」からハローワーク根室に専門スタッフを派遣いただき、「わかものフリー相談会 in ねむろ」を毎月1回開催することができました。フリー相談会では、就職のこと、将来のこと、生活のことなど幅広い相談をお受けいたしました。

また、人手不足分野の人材確保対策として、介護職などの一定の職種に係る求人について、就業場所が一目でわかる当所オリジナル「職種別求人マップ」を作成し、自由に持ち帰りできるよう配架したほか、来所を促すために、窓口利用のメリットを記載したリーフレットを配付するなど工夫したことで、効果的な相談窓口の利用につながりました。

そのほか、高卒者の地元定着やU I Jターンによる労働力確保対策について、関係機関との連携を深める打合せの機会を増やしました。

### (3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

昨年度後半からの全国的な新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対外的な接触機会の縮小に伴い、来所を求めない手続きや支援内容の見直しを図ることに加え、感染の影響を受けた事業主や労働者への支援の取組を強化していくこととしています。

特に、2年度当初から相談件数が増加している事業主向け支援「雇用調整助成金」について、関係機関と連携して制度や手続き方法の周知を図るほか、手続き後の早期支給に向けた体制整備を図っていきます。

そのほか、障害者雇用についての理解と雇用の安定、就職の促進を図るために、関係機関との一層の連携に注力していきます。

### (4) その他業務運営についての分析等

中長期的な雇用状況の変化を見据えたスタッフの資質向上に向けた取組を実施いたします。具体的には、職業紹介と雇用保険の各セッションのスタッフがそれぞれの関わりを深め、ハローワーク利用者へのワンチームでの支援に努めます。

また、人手不足分野である酪農業に関しては、関係機関との連携を柱とする新事業の効果的な運営に資するよう利用者のニーズ把握に努めていきたいと考えています。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターによる 正社員就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,132	1,037	260	29.9%	57.8%	43	2,542	383
目標	1,127	1,026	257	33.8%	58.9%	38	2,370	308
目標達成率	100%	101%	101%	88%	98%	113%	107%	124%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率。

# ハローワーク札幌東 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 1 職業相談窓口活性化の取組

当所では、雇用保険受給者を含む一般求職者が減少する中、「雇用保険受給者の早期再就職に資する取組の実施」の目標達成を最重要と考え、受給資格決定時の新規求職登録の際に、ハローワーク活用のメリットや早期就職の重要性、再就職手当の活用促進について詳しく説明することにより、再就職の意識の向上を図り、初回認定日での相談窓口への確実な誘導を実施しました。加えて、2回目認定日の全員職業相談も実施し、職業相談窓口の積極的な利用を促すことで、認定日における全受給者の職業相談実施割合が50.4%と、2回目認定日全員相談実施前の平成30年度上期の実施割合27.7%を上回ることができました。認定日相談では、マッチング以外にも再就職手当の活用など就職に関する助言を心掛けたことから、早期再就職件数の増加につながりました。

そのほか、「正社員就職件数」の目標達成に向け、正社員求人を毎日ピックアップのうえ、各相談窓口において求職者へのダイレクトメールによる積極的な来所勧奨を図るとともに、就職支援として応募書類の作成支援や模擬面接を実施する「サポートコーナー」の活用促進を図りました。

#### 2 求職者のニーズに応じた個別支援の取組

個別支援専用窓口で実施している個別支援の取組を、平成30年度から引き続き一般相談窓口に拡大して実施しました。具体的には、相談窓口の混雑時間を避けた相談窓口の体制が比較的手厚い時間帯に予約相談による個別支援を実施しました。本取組により就職件数127件、就職率70.5%の実績をあげることができました。

#### 3 早期求人公開への取組

平成29年度から求人受理から公開までの処理日数の縮減に向けて各種データの「見える化」を図っています。「見える化」したデータから、今年度の各月、週、日を予測した業務配置により効率的な業務運営となるよう工夫を重ねました。これにより12月迄は順調に早期求人公開（2日～5日間程度）を行うことができました。

なお、1月以降は職業紹介業務の充実・強化とシステム刷新に伴う求人票の入力項目の増加等により公開までの日数が7日～19日程度となっています。

#### 4 ミニ会社説明会・面接会

平成29年度から実施要領を策定して全所体制で実施しています。実質3年目となり利用実績を重ねる運輸業の他、介護福祉事業所の実施も増加しています。新規で実施を希望する事業所からの問い合わせも多くなっていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月下旬以降は休止しました。開催実績は年度目標の34回に対して66回と大きく目標を上回りました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

より多くの求職中の方が相談窓口を活用していただけるよう、求人検索コーナー受付で窓口利用の声掛けと、当所で独自に作成しているリーフレット「ご希望の職種の求人をその場でお調べします!」を配布し、職業相談窓口を利用するメリットを伝えたほか、雇用保険受給者に対して当所で独自に作成しているリーフレット「再就職手当を活用しましょう」を配布し、再就職促進を図ったことで、雇用保険受給者の早期再就職件数は昨年度と比べ増加しました。

そのほか、サポートコーナーで実施している所独自の就職支援セミナー（書類作成コース・面接コース・ハローワーク活用ミニセミナー）と労働局のイベント等を盛り込んだスケジュールカレンダーを作成し積極的な周知を図るとともに、平成30年度に参加希望者が多かった書類作成コースの開催回数を月1回から月2回の開催にしたことにより、所独自の就職支援セミナーの参加者数が512人と、前年度より45人、9.6%増加しました。

サポートコーナーの登録者数は536人で、前年度と比べ103人、16.1%の減少となりました。また、セミナー参加者の就職件数、就職率は、前年度と比べ10人、4.5ポイントの減少となりました。このことは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月後半より就職支援セミナーの開催を中止したことや、全体の求職者数が減少したことが要因の一つと考えております。

## (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

同一労働市場圏である札幌三所（ハローワーク札幌・ハローワーク札幌北・ハローワーク札幌東）が連携し、前日受理した求人の中から、求職中の方の希望の多い正社員の求人を選定し、札幌三所において共有を図り、各ハローワークがダイレクトコール、ダイレクトメールによる来所勧奨を実施するなどの、積極的かつ能動的なマッチングを令和2年度も引き続き展開し、その拡大を図ることとします。

人手不足分野である福祉（看護、介護、保育）、建設、運輸、警備の4分野業種への就職促進を図るために、関係機関との連携をさらに進め、4分野業種への求職者の知識・興味を深めていただけるよう有用な情報の提供に努めます。平成30年度から「北海道福祉人材センター」が当所を会場として実施しているセミナーや出張相談を令和2年度も引き続き実施するほか、令和元年度から「北海道ナースセンター」が当所を会場として実施している就業相談会を引き続き実施することで、さらなる人材確保対策を推進します。

上記(1)のエ ミニ会社説明会・面接会の開催回数については、目標を超えて実施しており開催事業所から概ね好評を得ていますが、

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月下旬から休止したこともあり、面談件数が144件と平成30年度の254件と比べ43.3%の減少となりました。これを改善するため、再開後はより積極的なダイレクトコールやダイレクトメールの活用や相談窓口での周知・誘導及び所内デジタルサイネージを活用した周知の強化を図ることとします。

#### (4) その他業務運営についての分析等

上記(1)のウ 早期求人公開への取組に活用した「見える化」データを分析すると、求人公開までの日数の長短によって就職件数や充足件数に影響があると見られる数値もあり、今後も日数の短縮に向け、引き続きデータを分析することとします。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援による 正社員就職件数	公的職業訓練修 了3か月後の就職 件数	マザーズハローワーク事業におけ る担当者制による就職支援を受け た重点支援対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	6,275	5,818	4,444	36.0%	38.7%	431	779	349	678	92.7%	24,487	2,819
目標	6,610	6,115	3,973	38.8%	40.4%	488	839	328	561	92.7%	25,817	3,119
目標達成率	94%	95%	111%	92%	95%	88%	92%	106%	120%	100%	94%	90%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク札幌北 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、次のとおり重点的に取組を進めました。

- ・ 求職者に寄り添った丁寧な職業相談、予約によるじっくり相談、双方向の求職者担当者制による就職支援や職業紹介を意識した求職者の状況に応じた求人の提供、応募書類の作成支援や面接ノウハウの助言等のプラス・サービスに積極的に取り組みました。
- ・ 求人充足に向けた取組として、求人充足サービスの充実を重視した求人充足会議の実施や相談員による事業所訪問を積極的に行いました。
- ・ 雇用保険受給者への丁寧な認定日の相談、再就職支援制度の説明、個別の就職支援、マッチング求人の提供、給付制限中の来所勧奨など早期再就職に向けた取組を行いました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 人材不足分野のミニ面接会について、介護分野の事業所の開催が多い中、他の分野（看護職・タクシー乗務員・食品製造工）の事業所へ開催を働きかけ、求職者の誘導を図りました。
- ・ 障害者雇用率達成指導と連動した障害者雇用のためのミニ面接会を実施しました。
- ・ 札幌三所共催のブラッシュアップシリーズ研修（ハローワークのサービスを知る研修、求職者スキルアップ研修、求人充足サービス研修等）へ積極的に所員を受講させ、知識や技能の資質向上を図りました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 求職者（雇用保険受給者含む）への早期就職に向けた就職支援サービスの取組を継続して実施します。
- ・ 求人充足サービスの質を重視した取組の強化を進めます。
- ・ 人材不足分野に対するミニ面接会を継続的に実施します。
- ・ 所員の資質向上のための研修受講を進めます。

#### (4) その他業務運営についての分析等

- ・ 正社員求人が伸び悩んでいる中、求人者に対して、求人受理窓口や事業所訪問等を通じて、正社員求人のメリットを丁寧に説明し、正社員求人の確保に引き続き取り組む必要があります。
- ・ 人材不足分野である福祉分野への就職に向けて、福祉分野求人情報の定期的な提供や福祉人材センター・看護協会ナースセンターの関係機関との連携を図っていく必要があります。
- ・ 生活保護受給者等の就職について、支援対象者の傾向として、稼働能力はあるが就労意欲が低いなどの課題が散見される中、福祉事務所等の関係機関と連携し、就職阻害要因を一つひとつ解消しながら、粘り強い就職支援に引き続き取り組む必要があります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 就職件数	障害者就 職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	公的職業 訓練の修 了3ヶ月後 の就職件 数	正社員求 人数	正社員就 職件数	人材不足 分野就職 件数
実績	4,239	4,724	3,124	35.1%	37.4%	465	520	287	349	18,616	2,136	1,398
目標	4,595	4,972	2,784	38.3%	38.8%	691	535	283	336	20,851	2,391	1,412
目標達成率	92%	95%	112%	91%	96%	67%	97%	101%	103%	89%	89%	99%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク千歳 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者担当者制によるきめ細やかな個別支援を重点的に取組み、求人情報の積極的提供、応募書類の添削指導や面接に向け助言・指導などを積極的に実施しました。雇用保険受給者に対しては、失業認定日における全員相談、給付制限期間中の呼び出し相談を行い、求人情報の積極提供等を行うなど早期再就職の促進に努めました。また、相談件数・紹介件数が減少しているため、求人検索コーナー利用者の相談窓口利用率を高めるために、求人検索コーナーの取り扱いマニュアルや掲示スペースでの周知、受付での相談窓口利用を促す声掛けの徹底を行いました。新たな取り組みとして早期再就職に資する所独自セミナー（ミニセミナー、書類作成コース、面接コース）を開始し、ナビ、相談員に講師を担当させることでスキルの底上げを図りました。

求人については、求職者が仕事内容を具体的にイメージできるよう求人票の仕事内容欄の記載の充実を図るとともに、求人充足会議の充実も図り求人充足を促進する取り組みを実施しました。

また、『所重点指標の目標設定』において選択した『マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率』の達成のため、従来の外部講師セミナーの実施に加え、マザーズスタッフによる独自セミナーの開始により支援の充実を図りました。

システム刷新においては、大幅なシステム変更による求職者・求人者の混乱を回避するため、対象スタッフに対し局研修の伝達研修のほか、独自の資料を作成し複数回研修を実施したこと、独自の求職者・求人者向け資料を作成・活用したことで、大きなトラブルなく業務を継続することが出来ました。

管内における大量離職が複数回発生する近年稀にみる状況となりましたが、課・部門・出張所との連携・応援体制を整え、離職者対策に取り組むことが出来ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所管内において求人倍率の高い地域と低い地域があることから、その低い地域の関係機関及び関係団体に働き掛け傘下企業に対し求人開拓を実施するなど、その地域に特化した求人開拓の拡大の取り組みを実施しました。

雇用保険説明会・初回講習において、上半期までは求人提出企業の採用担当者等からの15分程度の講話を行っていただき、「履歴書などの応募書類を確認するときの着眼点」、「面接で重視していること」などの採用現場の生の声を求職者に伝えることで、再就職への意識

啓発を実施しました。下半期からは企業が思うように集まらず休止しています。

人手不足分野等の人材確保の対策として、当所2階会議室において会社説明・面接会を実施していますが、利用促進を目的に実施要領を整備し統一化を図った中で、庁舎内の掲示、事業所訪問時にリーフレットを配布するなど周知を実施しました。

また、基本業務の徹底として、応募者が不採用となった場合に、求人者から伝えられた不採用理由を、以降の職業紹介に活かす、また、求める人物像など求人票には記載されていない情報として活用するよう努め、認定日に受給者全員を対象として行っている職業相談の内容の充実に努めました。

### (3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

平成28年度以降求職者が減少していましたが、令和元年度の月間有効求職者数は対前年比で0.9ポイント増加しました。新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響により求職者のさらなる増加が懸念されるどころ、今まで以上に充実した窓口相談を行ったり、担当者制による個別支援を充実させたいと考えていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため従来のような対面による相談の充実が困難な状況となっています。引き続き職員の専門的知識やカウンセリング能力の向上も図りつつ、対面によらないサービス提供の充実を検討していきたいと考えています。

また、求人内容の正確性、適法性の確保等、きめ細かな求人者サービスの取組も引き続き推進したいと考えています。

### (4) その他業務運営についての分析等

自治体等と連携した「高校生のための職業相談会」、「人手不足分野での就職相談会」等については、継続的な実施を要望されていることから、引き続き自治体等との連携を密にし、人材確保等に関する取り組みを進めたいと考えていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から相談会等のイベント実施は未定の状況となっています。

また、新規求人数、月間有効求人数ともに対前年比で増加しましたが、充足数・新規充足数ともに対前年比で減少しました。充足されない求人が増加していることから、わかりやすく魅力的な求人内容への見直しや求人条件の緩和を提案するなど、求人充足サービスの充実に努め、早期の求人充足を図ります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月以降大幅に業務を縮小せざるを得なくなり、会議室を利用するイベント（雇用保険説明会・初回講習、局セミナー、独自セミナー、会社説明会、看護職相談会、介護就職セミナー・個別相談会等）を中止し、雇用保険給付関係業務、職業相談紹介業務、求人受理業務については電話・郵送等による手続きを勧奨したことで来所者が減少していることから、対面によるサービス提供の機会も減少しています。特に職業相談においては従来予約による個別支援の積極的な実施は行えないことから、電話による相談や郵送による書類添削を行うこととなり、一定の効果は確保できるものの効率は低下しています。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,792	1,685	953	32.3%	41.3%	128	93.7%	5,713	796
目標	1,961	1,847	800	36.3%	46.0%	172	92.7%	5,426	813
目標達成率	91%	91%	119%	88%	89%	74%	101%	105%	97%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率